様式3－2

令和　8年　9月　1日

令和 8年度　結果の分析及び今後の改善策（案）

（ 中間・最終 ）

音戸中学校区 校番 19 学校名 音戸中学校

重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	l 結果の分析（結果と課題をこう考えます）	m 今後の改善策（案）（こう改善します（案））
★★★ 確かな学力	「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」を主体的に身に付けた生徒の育成	○生徒が主体的に課題解決に取り組む授業づくりの推進	○目標値を35.1ポイント上回った。 内訳は以下のとおり。（単位：%） 国語：1年 14.3／2年 18／3年 20 数学：1年 24.4／2年 26／3年 49 英語：1年 7.1／2年 17.5／3年 21	○6月，小中一貫教育研究授業で，保健体育科の授業実践で，生徒の実態に合わせた教材の提示や発問に主体的な活動を生み出す授業づくりを学んだ。今後，研究授業を中心に，授業モデルを基にし，生徒が主体的に課題解決に取り組む授業づくりを推進していく。
		○校内授業研究の充実	○1学期に研究授業を1回実施した。	○2学期に小中一貫教育で授業改善に向けて音戸中（国語科）と音戸小で研究授業を予定している。また，指導主事を招聘した授業参観を数学科，社会科，家庭科，英語科で実施する。
★★ 豊かな心・健やかな体	「地域とつながろうとする力」「チャレンジする力」「体力を高めようとする力」を身に付けた生徒の育成	○地域協働活動の推進	○目標値を12.8ポイント下回った。地域行事やボランティア活動へ意識付けやボランティアを行う機会の提供が不十分であった。	○学校運営協議会のネットワークを活用し，地域活動の把握を行い，生徒へ参加を呼び掛ける。
		○生徒のニーズや思いに応じた支援の充実	○目標値ををを3.8ポイント下回った。アンケート後の教育相談や日常的な声かけを行い，生徒変化に気づき，自己存在感が感受できるよう働きかけを行っている。また今年度は，SCの全員面談を実施している。	○計画的な教育相談や日常的な会話の中で生徒のサインに気づき，つなぎ，情報を共有による組織的な生徒指導を行っていく。
		○生徒主体の活動の充実による自己肯定感の高揚	○目標値を2ポイント下回った。体育祭等の学校行事等では生徒会活動が主体的に取り組めるよう生徒会担当を中心働きかけてきた。サオンドバッジで日頃の頑張りを全校集会で披露し，挑戦・努力していこうとする姿勢を醸成している。	○生徒会を中心に学校行事への参画意識を持たせ，主体的な活動となるよう働きかける。 頑張ったことを評価し，やればできるという実感や自己肯定感を醸成していく。
		○生徒の運動意欲の高揚	○目標値を上回った。授業，部活動，体育祭等で積極的に運動に取り組む姿見られる。	○運動の楽しさや喜びを授業や部活動で実感できる場面を設定し，結果だけでなくその過程も評価していく。
★ 安心・安全な学校	健康的な生活習慣の確立と体力向上を図る。	○地域の災害リスクを踏まえた防災教育の充実・深化	○目標値を2.5ポイント下回っている。5月末に出水期前の土砂災害避難訓練を，7月初旬に日本赤十字社から講師を招聘し，7月豪雨災害等の防災学習を行った。避難場所や避難方法の確認仕方について理解している生徒が100%でなかった。	○防災教育については，地元の講師を招聘し，地域で起こりやすい災害について知ると共に，自分の命は自分で守るための行動や情報収集について学んでいく。
		○いじめを許さない学校環境づくりの推進	○目標値11.4ポイント下回っている。生徒会を中心にいじめ撲滅運動を展開してきたが，自分も他者からからかわれるという意識があり，いじめはどんな理由があってもいけないこと感じていない生徒が一定数いる。	○教職員による日頃からの声かけや見守りを行い，「いじめ」への積極的認知と早期対応を意識し，情報を共有しながら組織的に取り組んでいく。

業務改善	教職員がやりがいを感じ，生き生きと働く職場づくり	○教職員の時間外勤務時間の縮減	○目標値を3.1ポイント下回った。時間外勤務時間の職員全体の月平均は34.2時間で，特に定期テストの6月に，月45時間を超過している職員数が多かった。	○教職員の困り感を共有し，組織的に改善していく。合わせて，部活動休養日と定時退校日を徹底していく。
		○教職員が話しやすい雰囲気づくり	○肯定的な回答が93.3%と目標値を上回っているが，充実感を感じられていない職員もみられる。	○職員室では互いに話しやすい雰囲気ではあるものの，何のために行っていくかの共有や，それぞれの役割を再確認し，働き甲斐が感じられる職場づくりを進めていく。